

会 議 録

会議の名称	令和3年度第2回上尾市地域創生総合戦略審議会		
開催日時	令和4年2月14日(月) 14:10~15:10		
開催場所	Web会議 (Microsoft Teams を利用)		
議長(委員長・会長)氏名	上尾市地域創生総合戦略審議会 会長 佐藤 徹		
出席者(委員)氏名	佐藤 徹、中込 英久、内田 富美代、吉田 裕、本田 直子、佐々木 毅彦、 宮内 礼子、國嶋 亮子、新道 龍一、樋口 敦、池田 達生、戸野部 直乃、 竹中 健司		
欠席者(委員)氏名	関谷 真司、金子 一夫		
事務局(庶務担当)	行政経営部次長 池田 将寛、行政経営課長 本郷 美代子、 行政経営課主幹 佐藤 浩、行政経営課副主幹 周 曉蘭、 行政経営課主任 沢辺 司、行政経営課主任 三浦 直人		
会 議 事 項	1 議 題	2 会議結果	
	1 開会 2 副会長(1名)の選任について 3 会議の公開について 4 議 題 (1) 第2期上尾市地域創生総合戦略評価シート(案)につ いて (2) その他 5 閉会	報告・説明と質疑応答	
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者	1人
会議資料	別紙のとおり		
<p>議事の内容・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p style="text-align: center;">令和4年 3 月 11 日</p> <p style="text-align: right;">会長の署名 <u>佐藤 徹</u></p> <p style="text-align: right;">議事録署名人 <u>竹中 健司</u></p>			

議 事 の 経 過

司会 (行政経営課長)	<p>1 開 会</p> <p>皆さんこんにちは。本日はオンライン会議のセッティングの関係で開催時間が遅れましたこと申し訳ございませんでした。</p> <p>これより令和3年度第2回上尾市地域創生総合戦略審議会を開会いたします。本日の審議会ですが、オンラインでの開催となり、欠席されている委員は関谷委員と金子委員の2名でございます。ですので、条例第6条第2項の規定に基づき、委員の過半数の出席がございますので有効に成立していることをご報告させていただきます。</p> <p>初めにオンライン会議をする上での簡単なルールをご案内させていただきます。1点目、発言する方以外の方はマイクをオフにさせていただきたいと思っております。2点目、ご自身でご発言又はご意見をいただく際にはマイクをオンにさせていただき、お名前を名乗った後、会長から案内されてからご発言いただけますようお願いいたします。以上2点についてご協力いただけますようお願いいたします。</p> <p>次に、今回1名の委員の変更がございましたのでご紹介させていただきます。市議会議員の戸野部 直乃様でございます。</p> <p>戸野辺委員 お世話になります。戸野辺です。よろしく願いいたします。</p>
司会	<p>2 副会長(1名)の選任について</p> <p>それでは、次第の2「副会長の選任について」です。こちらにつきましてはこれまで副会長でありました長沢委員が今回交代となったことで副会長が不在となっている状況でございます。条例第5条第1項により副会長を1人置き委員の互選によってこれを定めるとなっておりますがいかがいたしましょうか。</p> <p>特になければ事務局に一任いただけますでしょうか。</p>
委員	(了承の頷き)
司会	<p>ありがとうございます。それでは特にご異議がなければ、事務局案を提案させていただきます。</p>
事務局 (行政経営課主幹)	<p>それでは事務局より副会長案を提案させていただきます。 副会長に本田委員を提案させていただきます。</p>
司会	<p>事務局の提案がございましたがいかがでしょうか。</p>
委員	(了承の頷き)
司会	<p>ありがとうございます。特にご異議がございませんので、副会長は本田委員に決定いたしました。それでは副会長にご就任のご挨拶をいただきたいと思っております。</p>
本田副会長	<p>紹介いただきました本田です。副会長ということでよろしく願いいたします。</p>

司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは条例第5条第2項の規定によりまして、この後の進行は佐藤会長にお願いいたします。</p>
佐藤会長	<p>3 会議の公開について</p> <p>それでは進行をさせていただきます。</p> <p>お手元の会議次第をご覧ください。</p> <p>次第の3「会議の公開について」事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>本審議会につきましては、「審議会等の会議の公開に関する指針」に従いまして、同指針策定後の初めての審議会において「原則公開」ということで採決されておりますことをご報告させていただきます。</p>
佐藤会長	<p>それでは、事務局に確認します。</p> <p>本日、傍聴を希望される方はいらっしゃいますか。</p>
事務局	<p>本日は傍聴者が1名いらっしゃいます。</p>
佐藤会長	<p>ただ今から傍聴者に入場していただきます。</p> <p>事務局は、傍聴者を入場させてください。</p> <p>【傍聴者入場】</p>
佐藤会長	<p>傍聴者はお配りした「傍聴要領」を遵守していただき、会議のスムーズな進行にご協力をお願いします。</p> <p>次に、議事の正確性を証するため、議事録に署名をお願いしたいと考えております。議事録署名人につきましては、出席委員の中から1名、会長の私より指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(異議なしの頷き)</p>
佐藤会長	<p>それでは、本日の会議の議事録署名人を竹中委員にお願いいたします。</p>
佐藤会長	<p>(音声トラブル)</p>
事務局	<p>すいません佐藤会長の音声途切れてしまったようです。ただいま議事録署名委員の指名を会長からいただいたと思いますが、今回については竹中委員ということで間違いはないでしょうか。</p>
佐藤会長	<p>(同意の頷き)</p>
事務局	<p>それでは、本日の会議の議事録署名人として会長のご指名ですので、竹中委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。</p>
竹中委員	<p>承知しました。</p>

事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは引き続き会長の方に議事の進行をお願いしたいのですが、引き続き声が届かない状況でしょうか。</p>
佐藤会長	<p>(音声トラブル)</p> <p>(筆談：「本田副会長に進行をお願いします」)</p>
	<p>4 議題</p>
事務局	<p>会長が進行を行えない場合は副会長に進行をお願いすることになりますが、この後議題の説明に入らせていただきますので、このまま事務局で進めさせていただければと思います。</p>
本田副会長	<p>わかりました。よろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>それでは次第の4「議題」の説明をさせていただきます。</p> <p>申し遅れましたが行政経営課主幹の佐藤と申します。</p> <p>説明に入らせていただく前に本日使用する資料につきまして確認させていただきます。資料は、「次第」、「資料1 第2期上尾市地域創生総合戦略評価シート(案)」、「資料2 コカ・コーラボトラーズジャパンの大宮駅西口の屋外広告を活用した定住促進について」の3点です。</p> <p>冒頭から大変申し訳ないのですが、ここで資料の訂正をお願いするところがございますので順次説明させていただきます。</p> <p>訂正がございますのは資料1になります。こちらの2枚目以降はA4の縦の資料となっておりますが、下に振ってありますページ番号と該当箇所を順次申し上げますのでご確認をお願いいたします。</p> <p>まず11ページをお願いいたします。左上「重要業績評価指標(KPI)」と記載がありその下「指標の説明」の文章が「子どもたちが集い、遊び、学ぶとこができる場」と記載してありますが、正しくは「学ぶことができる場」となりますので訂正をお願いいたします。</p> <p>続きまして14ページをお願いいたします。14ページは2箇所の訂正をお願いすることになります。まず1点目は先ほどと同じく上段の「指標の説明」の文章で、「転入者がら」と濁ってしまっていますが、正しくは「転入者から」となりますので訂正をお願いいたします。2点目は下段のグラフの凡例として、点線で「目標(小学校)」と、実線で「実績(小学校)」との記載がございますが、このグラフは小学校に限ったものではございませんので「(小学校)」を削除していただきますようお願いいたします。</p> <p>続きまして15ページをお願いいたします。数値目標の「指標の説明」が途中で切れております。最後の単語から申し上げますと、「自立した生活を送ることができる期間」というのが正しい表記となります。</p> <p>続きまして18ページと19ページをお願いいたします。この2ページに共通した箇所の訂正で、一番上の「重点施策」が途中で切れており、正しくは「②スポーツ・レクリエーション及び健康づくりの推進」となります。</p> <p>以上6ヶ所が訂正となります。誤植等間違いが多く大変申し訳ございません。お詫び申し上げます。</p> <p>それでは説明に移らせていただきます。</p>

今回ご審議いただく第2期上尾市地域創生総合戦略評価シート案についてですが、今年度から令和7年度までを計画期間とする第2期上尾市地域創生総合戦略の進捗管理や評価を行うためのものがございます。総括表と個別シートからなる資料1のシートにつきまして、事務局にて作成をいたしましたので本日は委員の皆様からご意見をいただきたいと考えております。

それでは評価シートを具体的に説明してまいりますので、資料1をご用意ください。評価シートの構成でございますが、1枚目の横書き両面印刷のものが総括表となっております。2枚目以降は数値目標や各施策の目標を記載した個別シートとなっております。

それでは、1枚目の総括表から説明をさせていただきます。1枚目をご覧ください。総括表の全体的な構成については第1期総合戦略からの変更点はございません。左側に3つの基本目標が記載されており、上から「1 活力にあふれたにぎわいあるまちづくり」、中ほどに「2 明日を担う人が育つまちづくり」、裏面になりまして左上に「3 魅力があり安心して暮らすことができるまちづくり」となります。また、それぞれの基本目標には数値目標を設定しており、基本目標の右側に項目として「基準値」、「目標値」を記載しております。さらに、基本目標に紐づく形で、それぞれ「基本方向」、「重点施策」、そして進捗管理と評価をするための「重要業績評価指標」といわゆるKPIが記載されています。なお、数値目標およびKPIの内容につきましては、昨年度に本審議会でご意見をお伺いして設定しているものがございます。次に、総括表の表面ですが、右半分が空欄となっております。こちらは各年度の「進捗状況」と「実績値」を記載する欄となります。ですので、各年度終了後に記入をして、本審議会でも報告をさせていただく予定でございます。総括表の説明は以上となります。

続いて個別シートの概要について説明させていただきます。2枚目以降の縦書きのシートをご覧ください。2枚目以降には各シートにページが振られておりますので、ページをご案内しながらご説明させていただきます。まずは基本目標に設定された数値目標の評価シートについてご説明させていただきます。1ページを例に概要の説明をさせていただきます。左上に「基本目標1 活力にあふれたにぎわいあるまちづくり」と記載されており、その下に数値目標である「市内法人の従業者数」が記載されています。また、その下には「指標の説明」として指標の考え方が記載されています。そのまま右の方を見ていただきますと、「基準値」、「目標値」、「指標分析担当課」、「備考」の欄がございます。それぞれの数値等が記載されています。その下に大きな表で年度ごとに「目標値」、「実績値」を記載する欄がございます。なお、「実績値」の欄の括弧内につきましては、「目標値」と「実績値」の差を記載しているものがございます。さらにその下をご覧くださいと、「進捗状況」の欄がございます。文言で「順調」と表記されたものがございますが、これに併せて折れ線グラフを記載することといたしました。こちらについては第1期の評価シートには表記がなかったものでございまして、前回の審議会において第1期の評価結果をご報告させていただいた際にいただいたご意見を踏まえ、進捗状況を視覚的に確認できるようにしたものでございます。最後に表の下側になりますが、「経過の考察」と「今後の見通し」がございます。こちらについては、各年度のシート作成時点において記載するものとなっております。なお、表に記載されている「実績値」と「進捗状況のグラフ」につきましては、この評価シートが今後どのように表記されるかをイメージしやすい

ように仮の実績を入れて例示したものですので、あくまで例としてご覧いただければと思います。以上が数値目標のシートに関する説明となります。

続いて各基本方向及び重点施策に紐づく重要業績評価指標（KPI）の評価シートについて説明させていただきます。この KPI について念のため補足させていただきますと、目指す成果を達成するための重点施策の進捗等を測るための指標として設定させていただいているもので、理想的な状態というのがどういう状態なのかを考えた上で設定しています。それでは 2 ページを例に全体の概要を説明させていただきます。ページの左上に基本方向である「雇用の創出」が記載されており、右に行きますと重点施策である「産業の活性化」が表記されています。また、基本方向の下に重要業績評価指標（KPI）として設定した項目、今回の場合でいきますと「利用権が設定された農地の面積」が記載されており、その下には指標の説明が記載されています。右側に行きますと、「基準値」、「目標値」、「指標分析担当課」、「備考」の欄がございます。続いて、その下の大きな表について、先ほどの数値目標のシートでご説明いたしました内容と同様のものとなりますが、年度ごとの「目標値」、「実績値」と「グラフ」を表記することで、視覚的に進捗状況を確認できるように第 2 期から変更したものでございます。さらに下の表は「主な総合戦略実施事業」の欄で、こちらは KPI に関連すると考えられる本市が取り組んでいる「事業名」とその「予算額」と「決算額」を記載するものとなっております。なお、「決算額」につきましては、第 1 期の評価シートでは記載しておりませんが、本審議会において「予算額」だけでは実施状況の把握がしづらいとのご意見をいただきましたので、第 2 期から記載させていただくものとしたしました。最後に下の 2 段は先ほどの数値目標のシートと同様に、「経過の考察」と「今後の見通し」について、各シートの作成時点において記載する内容となっております。以上が個別シートの概要となります。

第 2 期総合戦略においては、数値目標と KPI を合わせますと 24 項目設定しております。したがって、その 24 項目全てにおいて個別シートを作成して進捗管理を行っていくこととなりますが、シートの構成につきましては全て同じ内容となっております。各数値目標と KPI につきましては昨年度に本審議会でご審議いただき設定させていただいたものでございますが、ご審議いただいてから時間が経過しておりますことや、新たに委嘱させていただいた委員の方もいらっしゃいますことから、簡単にではございますが触れさせていただきますと思います。

それでは 1 ページをご覧ください。基本目標「活力にあふれたにぎわいあるまちづくり」の数値目標として「市内法人の従業員数」を設定しているものです。こちらは「雇用の創出」に焦点を当てたシートとなっております。

2 ページをご覧ください。先ほどと重複しますが、基本方向「雇用の創出」における重点施策「産業の活性化」に対して「利用権が設定された農地の面積」を KPI として設定したものでございます。重点施策を達成するための理想の状態を農家が抱える問題が解消されている状態と考えまして、理想の状態となるための課題として、遊休農地が増えているということがございます。これを解消するために、農地を借りたい農業者と、農地の所有者等を結びつけるという指標として「利用権が設定された農地の面積」とした次第です。なお、各 KPI のシートにおきましては、全て共通となりますが表の下の方に KPI に関連する主な事業と考えられるものを掲載しているところです。

3 ページをご覧ください。引き続き「雇用の創出」に対する KPI となります。

こちらは重点施策が達成されるための理想の状態を企業の経営が安定している状態として、市が実施した「中小企業サポート件数」をKPIとしています。関連事業として、「中小企業サポート事業」などをあげております。

4ページをご覧ください。引き続き「雇用の創出」、「産業の活性化」に関するKPIとなります。ここでは理想の状態を新たな企業が立地している状態と考え、企業立地を推進することにより、結果として法人市民税が増加とした「法人市民税額」をKPIといたしました。こちらも関連事業は中小企業関連のものとなっています。

5ページをご覧ください。基本方向が変わりまして「労働環境の充実」となります。重点施策につきましては「勤労者・就労支援」ということで、これに対して「キャリア形成支援対象者数」をKPIとしたものでございます。こちらは理想の状態を個々の市民に応じた就労支援ができている状態と考えまして、行政によるキャリア形成支援対象者数をKPIと設定したところでございます。

6ページをご覧ください。基本目標である「明日を担う人が育つまちづくり」に対する数値目標の評価シートとなります。数値目標は「年少人口」と「学校に行くのは楽しいと答える児童生徒の割合」としており、上段と下段にそれぞれ記載をしているものでございます。なお、「学校に行くのは楽しいと答える児童生徒の割合」につきましては、毎年全国の小学校第6学年、中学校第3学年を対象に実施される全国学力学習状況調査による数値を採用することとしております。

7ページをご覧ください。基本方向「結婚・出産・子育て支援の充実」に対する重点施策として「結婚、妊娠から子育てまで切れ目ない支援の充実」において、「子育て世代包括支援センターでの対応延べ件数」をKPIとしたものでございます。重点施策が達成されるための理想の状態を子育て世代が抱えている問題が解消されている状態と考えまして、相談業務や積極的な情報発信に取り組んでいくことで、いわゆる上尾版ネウボラといわれている子育て世代包括支援センターの対応件数が増えていくだろうと想定してKPIとしているものでございます。関連事業につきましても子育て世代の相談業務等を掲げさせていただいているところでございます。

8ページ及び9ページをご覧ください。基本方向「結婚・出産・子育て支援の充実」に対する重点施策として、「子育て施設・環境の整備」において、「保育園の待機児童者数」と「放課後児童クラブの待機児童数」をそれぞれKPIと設定したものでございます。こちらは重点施策が達成されるための理想の状態を保護者のニーズに対応できる状態と考えておりますことから、保育園および放課後児童クラブである学童の待機児童者数が減っていく方向を確認できる指標として設定させていただいたものでございます。従いまして関連事業についてはそれぞれの施設の整備事業等を掲げているところでございます。

10ページ及び11ページをご覧ください。基本方向については引き続き「結婚・出産・子育て支援の充実」でございます。重点施策として「地域全体での子育て世代の支援」とし、理想の状態を子育て家庭が地域と交流している状態と考え、「地域子育て支援拠点の利用者数」と「児童館の利用者数」をKPIとしたところでございます。関連事業については各施設の運営事業等としていただいております。

12ページをご覧ください。こちらは基本方向「子どもが健やかに育つこと

ができる環境の整備」に対する重点施策「確かな学力と豊かな心の育成」に対する KPI となります。重点施策を達成するための理想の状態を、確かな学力と豊かな心の育成がされていることといたしまして、「上尾市学力学習状況調査における市内標準得点」を KPI として設定したものでございます。関連事業としては教育委員会の事業を中心とさせていただいております。

13 ページをご覧ください。こちら基本方向については引き続きとなっております。重点施策として「魅力ある学校づくりの推進」に対する KPI を設定したページとなります。理想の状態ですが、保護者や地域住民が参画しやすい学校づくりが進んでいる状態といたしまして、地域がどれだけ学校活動に参加しているかを測る指標として、「学校応援団の延べ活動日数」を KPI として設定したところでございます。関連事業はコミュニティ・スクール推進事業等としているところでございます。

14 ページ及び 15 ページをご覧ください。基本目標「魅力があり安心して暮らすことができるまちづくり」に対する 3 つの数値目標のシートとなります。まず 14 ページでございますが、「転入超過の数」が上段で、下段が「地域防災訓練の実施率」、15 ページに移りますと 65 歳に到達した人が健康で自立した生活を送ることができる期間と言われております「健康寿命」を数値目標として設定させていただいたところでございます。

16 ページ及び 17 ページをご覧ください。こちらは基本方向「魅力の創出」に対する重点施策「魅力の発信」における KPI の設定でございます。16 ページは重点施策が達成されるための理想の状態を本市の魅力が十分に発信されていることといたしまして、理想の状態に紐づく主な取り組み内容として、市からの情報を様々なツールを通じて創意工夫しながら発信することについての KPI として「SNS 登録者数」を設定いたしました。17 ページでございますが、「ふるさと納税の寄附額」を KPI として設定しております。これは応援したい自治体に寄附ができるというふるさと納税の寄附額がどれだけあったかということをも本市の魅力の発信の度合いを測る指標として採用したものでございます。関連事業については、それぞれシティセールス事業やふるさとあげお応援事業等を掲げたところでございます。

18 ページ及び 19 ページをご覧ください。「魅力の創出」に対するもう一つの重点施策でございます「スポーツ・レクリエーション及び健康づくりの推進」における KPI となります。重点施策が達成されるための理想の状態をスポーツ・レクリエーション及び健康づくりが推進されている状態と考えておりますので、18 ページでは「スポーツ・レクリエーション事業の参加者数」、19 ページにおいては健康分野で「各種がん検診の受診率」という 2 つの KPI を設定したところでございます。

20 ページ及び 21 ページをご覧ください。基本方向「安心で良好な住環境のまちづくり」に対する重点施策「地域防災力の向上及び災害援助・復旧体制の確立」における KPI を設定したものでございます。20 ページにつきましては、重点施策が達成されるための理想の状態を地域防災体制が強化されている状態と考えまして、理想の状態に紐づく主な取り組みとして防災士の育成支援を市が実施することによって、防災士を増やすことで地域の防災力が向上するという仕組みを考えたことから、KPI を「防災士の育成人数」と設定しております。また、21 ページでございますが、理想の状態を民間事業者等との連携が図れている状態とし、何か起こった時のために他市町村或いは民間事業者等と提携することで防災力が向上するというロジックから、KPI を「災

	<p>害時応援協定の延べ締結数」としたところでございます。</p> <p>22 ページをご覧ください。「安心で良好な住環境のまちづくり」に対するもう一つの重点施策である「交通手段の充実」における KPI となっております。重点施策を達成するための理想の状態を交通網が効率的、効果的に整備されている状態と考えまして、市内循環バスの効率的な運行に努めることによつて、市内循環バスの利用者数を上げるとした KPI として「市内循環バス利用者数」を設定したところでございます。関連事業といたしましてはバス輸送充実事業等を掲げております。</p> <p>以上、事務局からの説明とさせていただきます。</p>
本田副会長	<p>ただいまの事務局からの説明に対して、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。</p>
竹中委員	<p>久しぶりに指標を見させていただき、確認ということでご説明いただければと思いますが、10 ページの KPI 「地域子育て支援拠点の利用者数」は、年々増えていく目標値を設定していますが、11 ページの KPI 「児童館の利用者数」は、年々減っていくという目標値を定めています。これは何か理由があつてこういう定め方をしているのでしょうか。おそらく以前議論したかと思いますが大分前のことですので確認できればと思います。</p>
事務局	<p>1 年前は特に議論とはならなかったところですが、2 つの KPI を比較した場合にいわゆる子育て政策に関することであり、増えるベクトルと減るベクトルがございます。一つには例えば保育所の例等もそうですが、子どもの数は減っている中で保育所の入所者数、入所希望数は増えているという状況がございます。10 ページの「地域子育て支援拠点の利用者数」というのはいわゆるそうした保育所に近い状況で、子育てに対する相談等、子育て拠点の利用者数は増えている状況があります。一方で、11 ページの「児童館の利用者数」につきましては、当然児童館の方も魅力のあるものにして利用者数を増やす必要がありますが、実際の子どもの数の減りを考慮しますと利用者数は減るであろうという目標値となっております。</p>
竹中委員	<p>10 ページは目標値として積極的に支援をしているというのが理解でき、誰もが納得する様な右肩上がりのグラフとなっておりますが、11 ページは確かに子どもの減りからすると一生懸命やっていく目標値ということでは理解できるのですが、今更ではありますが、こういうものを目標値として設定しておく意味があるのかというふうに思いました。子どもが減っていくにも関わらず、「児童館の利用者数」は一生懸命伸ばしてサポートしていきますというグラフであれば載せる意味はあると思いますが、明らかに下がっており、これは自然にも下がっていくものなので、目標値として載せておく必要があるのかなと思ったところでございます。</p>
事務局	<p>先ほど説明させていただいた内容になってしまいますが、重点施策を達成するための KPI を設定するにあたり、いろいろと検討した結果、最終的に「児童館の利用者数」ということで整理をさせていただいたものでございますので、今回はこのまま置かせていただき、今後、社会的な情勢の変化等、新たな事業がございましたら、その時に適切な指標に変更させていただければと</p>

	<p>思います。総合戦略の計画の文中でも、そういった変化に応じて指標について変更や見直しはできるものとしておりますので、必要があれば変えていくこととしたいと思います。併せて、この児童館に限らず、現状コロナの影響で利用者が伸び悩んでいるものもごございます。そちらにつきましては来年度に本審議会で令和3年度の実績が出た上で、新たな目標設定、指標設定を検討したいと考えております。</p>
宮内委員	<p>11ページの「児童館の利用者数」ですが、こちらの利用者数は市外のお子さんの人数等も含まれての目標値ということでよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>市外の利用者も含んだ数値となっております。</p>
宮内委員	<p>児童館は基本的に18歳までの子ども達が利用できる場だと認識しているのですが、この目標値は中学生及び高校生の利用者数も含めた目標値ということではよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>そちらにつきましては手元に資料がございませんが、基本的には利用者数ということで含めた数値としているものと認識しているところでございます。</p>
本田副会長	<p>他に何かございますか。 無ければ、議題の(2)「その他」に入ります。 事務局よりお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは(2)「その他」の説明をさせていただきます。 まず、次回の審議会の予定について申し上げます。次回は令和4年度に入ってから開催を予定しており、内容は本日も審議いただきました評価シートを使用し、進捗状況を報告させていただくものです。開催時期は7月頃を目処に考えております。次回のスケジュールについては以上です。 続きまして、コカ・コーラボトラーズジャパンの大宮駅西口の屋外広告を活用した定住促進について報告させていただきます。本市とコカ・コーラボトラーズジャパン株式会社は、包括協定を締結しており、コカ・コーラボトラーズジャパンの保有する大宮駅西口の屋外広告において、年に2回、無償で市のPRが可能となっております。今回こちらを活用して年末の買い物や帰省で大宮駅の新幹線を利用する人をターゲットとし、12月の1ヶ月間、本市の定住促進のPR動画を放映いたしました。動画の内容については資料2に記載されているものであり、「あげお発、えがお行き～家族の夢はあげおで叶う～」というメッセージを掲示したものでございますが、単に文字を表示し、放映したのではなく、画像の中で徐々に変化しているところがありますという呼びかけをいたしました。実際に変化している箇所というのは左下のマスクをしたアッピーが徐々にハートを持ったアッピーに変わっていくとしたところでございます。また、同様の動画を令和4年3月にも放映する予定でございます。報告は以上となります。</p>
本田副会長	<p>以上で議事を終了いたします。 進行を事務局にお返しいたします。</p>

事務局	<p>佐藤会長から音声トラブルによりチャットにて「第2期上尾市地域創生総合戦略評価シート(案)」についてご意見をいただきましたのでここで報告させていただきます。</p>
佐藤会長	<p>(目標値の設定根拠に関しては、重要な指摘です。実績値をもとに議論する際に重要な情報ですので併せて提示してください。)</p>
事務局	<p>先ほどの目標値の設定根拠等に関しましては今後議論をさせていただく際に、実績値を確認した上でご報告をさせていただきたいと思っております。</p>
佐藤会長	<p>(子どもの数が減少するなどの趨勢で目標値を下方に設定する場合であっても、単純な予測値ではなく、政策的な努力によって、上乘せするケースもあります。どのように外部評価で議論するか、事務局案を示してください。政策評価に関しては、①ロジックモデル、②データ、③議論が3点セットです。昨年度議論したロジックモデルも併せて提示しながら、なぜ目標値に届かなかったかを議論する必要があります。ご検討ください。)</p>
事務局	<p>子どもの数が減っていることについて目標値が下方の方に伸びているのもどうなのかというご意見もございましたので、そういった目標値をどの様に出しているかということについて、努力によっては上乘せをしているのか、それとも単純に減っているから減る数値としているのか等について、改めて次回以降の審議会でご報告させていただければと思います。</p>
佐藤会長	<p>(ロジックモデルを公表してください。そして、ロジックモデルは一度作って終わりではなく、事業を実行し、ロジック(仮説)どおりうまくいったかどうかを検証(評価)・見直しすることです。事業を実行すること自体が目的ではありませんので効果があまりなければ、既存事業を見直したり、新規事業を立案していく必要があります。政府でもロジックモデルを活用し始めています。)</p>
事務局	<p>昨年度この指標を設定する際にロジックモデルシートというものの作成し、それを基に指標を設定した経緯がございます。今後、佐藤会長からのご意見を踏まえ、ロジックモデルシートも使って、目標を下回ってしまった場合にはなぜ届かなかったのかという様なことを議論させていただければと思います。政府の方でもロジックモデルを活用し始めているということもご意見いただきましたので、事務局としてもそれを踏まえて進めてまいりたいと考えております。</p> <p>また、先ほどご質問いただきました児童館の利用者数に高校生及び中学生が含まれているのかということについて、今確認いたしましたところ、中学生及び高校生も含めた数字となっているという確認が取れましたのでご報告いたします。</p>
司会	<p>4 閉会</p> <p>本日はご意見をいただきありがとうございました。 最後に本田副会長から閉会のご挨拶をお願いいたします。</p>

本田副会長

皆様ご協力いただきありがとうございました。急遽進行するということになりましたけれども、皆様のご協力で何とか終了することができました。次回は7月頃ということですので、また皆様からの貴重なご意見をいただきながら、議論ができれば良いかと思っております。ありがとうございました。

以上